

世界的不況を外に 輸出量激增

本年上半期の輸出成績

よく賣れるのは食卓用果實

世界的不況の際であるにも拘らず、ブラジルの上半期對外輸出貿易中或る種のものは前年度に比し多大の増加を示してゐる。昨十二月當局の公表せる所によれば、此輸出増加に屬するものは食卓用果實、米、煙草、カルナウ、皮革等であるが、今其各々に就いて見る。

食卓用果實は昨年度より二万六千八百餘トン、昨年度より三万七千六百餘トンの増加あり、右の外云ふべきものに皮革が八万五千六百八十九トンの増加あり、これは本年上半期に於て二万八千六百六十七トンの増加あり、昨年同様に比し量に於て四・四％の増加であり、価格は於て一・一八・八％の増加となつてゐる。次いで

米を見るに一九二九年年度の二万八千四百一十トンの増加あり、比し本年上半期は四万七千四百三十五トンの増加あり、前年度は六千九百五十三トンの増加あり、本年は三万七千八百六十トンの増加あり、昨年同様に比し量に於て三・七四％、價格に於て三・四二・四

これだから 十志税は廢さない

二ヶ年後には「

輸出税一依に對する十志税の税金は現在の市價並に爲替相場の下に於ては素より過重を要するに相違ないが、他方、球市場上に見れば、之は右の如く、輸入税に對するに充當するに足らぬものがある。即ち、二ヶ年間に於ける聖州咖啡税の額を以て、

一九二三年	1,000,000
一九二四年	1,000,000
一九二五年	1,000,000
一九二六年	1,000,000
一九二七年	1,000,000
一九二八年	1,000,000
一九二九年	1,000,000
一九三〇年	1,000,000
一九三一年	1,000,000
一九三二年	1,000,000
一九三三年	1,000,000
一九三四年	1,000,000
一九三五年	1,000,000
一九三六年	1,000,000
一九三七年	1,000,000
一九三八年	1,000,000
一九三九年	1,000,000
一九四〇年	1,000,000

ミゲール教授の 初等教育改善案

實行可不可能と難せらる

ブラジルの初等教育制度の改訂問題は、今般者間に於て、其に對する意見が、左に掲げられてゐる。左に掲げられてゐる意見は、ミゲール・コト教授の意見である。ミゲール教授の意見は、現在の初等教育制度を、左に掲げられてゐる意見に改訂するべきである。其の要領は、

- 一、初等教育は「義務」として、無償とし、且つ「統一」たるべきこと。
- 二、初等教育は、年齢兒童は就學の義務がある。年齢兒童とは七歳より十四歳迄を謂ふ。
- 三、初等教育は、教育、体育及び職業教育をなす。
- 四、聯邦政府は、一般地方兒童を、州政府は、各州府の兒童を、

檢閲開始

聯邦政府各州 執政官に嚴達

政務廳の職員は、一週間に亘り、各州に於て、執政官に對し、其の職務の遂行に關する、檢閲を開始する。此の檢閲は、執政官の職務の遂行に關する、其の成績を、一週間に亘り、各州に於て、檢閲する。此の檢閲は、執政官の職務の遂行に關する、其の成績を、一週間に亘り、各州に於て、檢閲する。

聖州咖啡の 移出開始

移出開始

聖州咖啡の移出は、昨日より開始する。此の移出は、聖州咖啡の移出は、昨日より開始する。此の移出は、聖州咖啡の移出は、昨日より開始する。

伯國咖啡 然依續行

然依續行

伯國咖啡の然依續行は、昨日より開始する。此の然依續行は、伯國咖啡の然依續行は、昨日より開始する。

開國 四百年祭

開國四百年祭

開國四百年祭の開催は、昨日より開始する。此の開國四百年祭の開催は、昨日より開始する。

伯國婦人の 農村進出提唱

農村進出提唱

伯國婦人の農村進出提唱は、昨日より開始する。此の農村進出提唱は、伯國婦人の農村進出提唱は、昨日より開始する。

告急

吉野新七殿
子供さんの件で至
急御返事願ひ
常盤旅館主 石原桂造

小店員を募る

身体強健敏捷 意欲旺盛なる者
來月八日迄の希望を有する
十四、五才までの少年
市中 中矢商店
郵函 二九九五號

イタヘチニン

ガ土地

百アルケルシチオ、地味肥
沃、牧場牛頭あり、處女林
水原豊富、市街地より自動車
道にて八キロ、百コントスに
譲渡致したし。

姓名在社

CASA FOTOPTICA

Rua S. Bento, 45

「アグファ」
「コダック」
「ゼイヌ」
製品一切
現像、焼付
引き延ばし

Pharmacia Popular

DE HOEPPNER & SILVEIRA

Av. Minas Geraes - Promissão - Caixa, 101

獨逸製
醫療器具類
農業用藥品
アルセニコ
シヤムソルト
他

G. CICONI

RUA IRMÃ SIMPLICIANA NO. 9

靴と靴
皮革類 労働靴
運動靴、トラン
ク、大小手提靴
折カバン 各種

謹告

拜啓今般バスターズ移住地事務所建設のラ
ンシアリア驛前倉庫の委任經營を引受候
に就而者

誠實 丁寧 迅速を旨として
出來得る限り御便利に取扱可申候間 御
視察 入植の際は移住地行自動車などの
便も有之候へば是非御立寄被下度
(尤も毎列車到着時刻には送迎のためホームに待ち居候)

先は右御挨拶旁々御愛顧之程偏に御願申
上度如斯に御座候 敬白

昭和六年八月

ソロカバナ線ランシアリア驛
移住組合ランシアリア倉庫郵便物貨物取扱
品 川 清 一

通告

江澤榮一兄
至急御宅せられたし
弟より

耳鼻科
Dr. Luiz Brandão Filho
ARARAQUARA
セビラウ教授前助手
伯林並に維納病院動
トドールルイス
ブランドン
アラカワラ市
アラニダス街二九

せきぎ?

ぜん息グリツベ其
他でお困りなら
BRONCHISERUM
をお用ひなさい

聖市パチンダ街
日本藥局

CAJÚ PURGATIVO

一度使へば絶対に他品
は使へぬ。
廉性、瓦斯費で服用容
易。藥食の要無く効果
は速し。

到る處の藥店にあり
發賣元
聖市パチンダ街
日本藥局
街二 郵函二六二五

FABRICA DE MACARÃO TOYO

日本式うどん卸小賣
東洋製麵所
我那覇宗輔

リンス市リオンコ街五四
郵函 二〇〇三

謹告

從來バスターズ移住地直營で
ありました製材所を小生等
で引受け營業致す事となり
ました 何卒宜敷く御引立
の程懇願致します

昭和六年八月

佐藤福太郎
本田好

ADUBOS "VIANNA"

Gastão K. Sakai
ENGENHEIRO

●効果百パーセント
●の完全肥料●

豫約者募集

サンタ・クルス印肥料は伯國農會、
リオ農會から有價肥料の最優秀なる物
として推薦された屠殺後殘滓肥料で既に
御使用の各耕主、同胞園藝家等が依つて
多年試用され、聖州農事試驗所に於ける
分拆表を見てもサンタ・クルス印
肥料が如何に優れた肥料かを判る管で
發賣元
發賣元
發賣元

右のサンタ・クルス印を基本とし三
要素の不足を完全に化學肥料で補ひ調
和したる經濟的調和肥料「完全肥料」
と稱し馬蹄糞、蔬菜用肥として八月期
に於ける消費者の豫約を募集致す
完全肥料 窒素三・六〇％、磷酸一
〇・六七％、加里六・〇〇％
サンタ・クルス印肥料 百六十ミ
完全バタ用肥料 三百六十ミ
但し切は八月三十一日迄。肥料は總て
ビネーノ渡し。
取引きは現金に限る。
アルツール・ピアン肥料會社
完全肥料部 堺康治郎
倉庫 ビニエロス街一八六
自宅 ビニエロス街一八六
ノン・ヂーアス街六三

◇ 母 國 近 信 ◇

太平洋無横飛 其の後に来るもの 残された空界唯一の謎 さて一番乗りの勇者は？

全世界の視線を集めて太平洋の遠征の途に上らんとした報知機(吉原飛行士)は天候に災されて空しくその計画を来年度に延期するやむなきに至り、又北米からのロビンズ機はアラスカの北端ノームまで飛ぶながら豪雨と濃霧のために...

◇ ゲーブル大佐(米) ◇

昨年米海軍大佐と太平洋の遠征空をねらふ空界の大立物で、嘗てサンフランシスコ、ハワイ間三千六百里を飛越してドーブル賞金を得た人だけに腕は確かだ。

荒くれ男の群に混つての海女

荒くれ男の船乗の中に飛込んで来たのは、職業訓練を修了して来た女性だ。...

珍景、子供の夫婦

大阪府社会課で行つたスラム調査のうち、下階級の結婚年齢に関する詳細な統計がこの程漸く出来上つた。...

世界早廻選手

朝日新聞社の朝日新聞社、世界早廻選手、手廻馬車選手、は十六日早朝横濱に到着。...

Advertisement for 'Elixir Hogueira' (梅毒妙薬) and 'World's First' (世界早廻選手) with an image of a medicine bottle.

Advertisement for 'Hotel Fuzi' (御旅館不二) and 'M. HARADA' (原田政平) with various service details.

Large advertisement for 'Takago' (タカ目薬) and 'Takago' (Takago) medicine, including '断然キキメ第一の' and '無資本者への'.

農事相談

霜害と珈琲園

杉山英雄

過日の霜害の爲に損害を受けた各園の四年又は六年の期間に於ける仕立契約をして、その損害を補償するものとする。同様の意味の買付が多数集まつたので、之を一括して共通の説明を簡単にする事にした。

一、分益農事組合契約
或る土地の地主と努力を供給する者が、地主は其所有地を耕作の爲に提供し、努力供給者は其土地に耕作し、其収益を兩者の間に分配する事を協約する時、其處に農事組合(パルセリア・アグロコラ)の契約が成立するものである(民法第四百九十九條)。

二、契約存在の立証
農事組合契約又は分益農事契約が當事者間に存在する事を立証するにはどうするか? 原則として口約を以てして、此の契約が成立したものである。然し、契約が成立した立証が困難な場合に於ては、証人だけの立証では不十分である。其契約の存在を証明する文書即ち契約書が無ければならぬ。九二六年民事訴訟法第一五四三條(特別例)此の契約書は私署證書(當事者間で作成し証人

MOVEIS
カサ東京へ
CASA TOKIO
R. Sta. Ephigenia, 11-A
Tel. 4-6457 Caixa, 1005

三名運着したものを以てして、引渡の第一株に付いては、例へば、約束があればそれを支拂つて、時期に依つて補償の行はれない。時なら、アラリアなど云ひ立て、違約金を取立てる事も出来ず、なればならぬ。

三、分益農事契約の登記
分益農事組合契約は、一の物權である。其土地に附帯した一の保果となるものである。従つて土地所有主が變つても即ち其土地の買主譲渡が行はれても此の契約はその土地へ着いて新しい地主の負擔となつて行くので、かう云ふ契約のある土地を譲渡する者は、其契約をそのまゝ繼承して行つて行つて行くが原則である(民法第六百七條)。

四、不慮の災害又は不可抗力に力による損害の負擔
不慮の災害又は不可抗力の爲に契約した農事に損害を蒙つた時、當事者等は之をどう云ふやうに負擔すべきであるか? 契約に規定してある場合は、その規定に従ふのである。契約に何の規定もなかつた時は、民法第四百九十二條に據り地主と農事者とは共同で負擔しなければならぬ。

受賞數回
邦人家具商の古參

條件は完全に履行して、例へば、引渡の第一株に付いては、例へば、約束があればそれを支拂つて、時期に依つて補償の行はれない。時なら、アラリアなど云ひ立て、違約金を取立てる事も出来ず、なればならぬ。

五、不慮の災害又は不可抗力に力による損害の負擔
不慮の災害又は不可抗力の爲に契約した農事に損害を蒙つた時、當事者等は之をどう云ふやうに負擔すべきであるか? 契約に規定してある場合は、その規定に従ふのである。契約に何の規定もなかつた時は、民法第四百九十二條に據り地主と農事者とは共同で負擔しなければならぬ。

カサ東京へ
CASA TOKIO
R. Sta. Ephigenia, 11-A
Tel. 4-6457 Caixa, 1005

Dr. Palamone
OCULISTA
眼科専門
パラモネ
アララタアララ
サンベント街三三三

Machina Oriental - Beneficio de Café
YNOUE & CIA.
Caixa, 43 - Tel. 23
Est. A. Machado L. Sorocabana

白米
其味に於て既に定評ある當地産白米を特選を以て御注文に
選買の點からして、モチアナ線在住諸彦は是非一度御試しを願ひます
御注文の節は直接又はリベロンプレト市上村高作氏へ御
聞き合せ下さい
モチアナ線イガラバーバ町
日本人産業組合精米部
郵便函 第二十二番

緑川高廣
聖市フレスコシオンデ・アプレウ街六七
電話 七五六 電話 二一〇七〇
電報略符 BROMBERGCO

貸地
バウリスタ線チンビラ驛在の
耕作、養蠶に好適地、アル
ケール地百五十ミル四年間
を期間として貸します。現在
敷家の日本人諸君が居りま
す。チンビラ驛は此の驛地
中にあります。詳細は支配人
に
Fazenda Santa Maria
Est. Tymbira - Paulista

土地を買ひますか?
中央線モヂ・ダス・クルーゼス
の土地、森林、既に日本人諸
氏により開墾せられ居り、一
アルケールより、モヂ市より
自動車道で各七キロ、十三
キロ、二十キロ。
御相談は左記地主へ
Dolores Bernardino Carmo
Rua José Bonifácio 123
Mogy das Cruzes

井上商會
ソコバナ線・マシヤド驛
郵函一三三番 電話四三三番

ブラジル販賣部
石油
リガゾ

Casas Gonçalves e Luso Brasileira
Gabriel Gonçalves & Cia.
FUNDADA EM 1914
Rua General Carneiro, No. 35-53-55
Caixa Postal, 388 - São Paulo

げやみルジラブ
入輸に並造製
築の船細工、島の羽細工、木細工、椰子
細工、インデオ所持品
蠟、蛇其他特殊動物の皮、瑪瑙、アグア
ス・マリニユヤス、ツルマリノナス其他
原石、タツト製手提籠、高級材料杖
其他ブラジル土産いろいろ
日本人諸彦の御用商
花市場前
Rua Buenos Aires, 110-112
Tel. 3-5550 R. de Janeiro

**エレケイロースの
過りん酸石灰**
多年の御愛顧に報ゆる爲め伯國土壤の特に燐酸分の不足
し居るに鑑み茲に通燐酸肥料の研究を没頭し御蔭を以て
好成绩を得本年三月十八日(日)七〇番に登録しカンビ
ーナス農事試験場の賞讃を得ました
其の分析の結果は
分折番號一〇、八五四番號
燐 酸 全 量 一九七〇%
可 溶 燐 酸 一八・九一%
で實施二四に於ける施肥試験は従来の通燐酸石灰を凌駕
して居ます
聖市サンベント街六三(郵函二五五)
エレケイロース
化學工業會社農事部
大久保憲藏

果樹消毒の時期
新食食用卵
古サツコ
あなただけの果樹園の予定は済みましたか?!!
肥料をやりましたか?
次ぎに消毒は
殺虫剤は居りませんか、フヒロキセラ虫は?!!
梨の黒星病、柑橘類の煤病並に瘡病、桃の縮葉病、葡萄のべ
ト病等腐敗病はありますせんか、明日と云ふ今日今更から行
なひなさい、今年度の收穫を極にふらさない様に、時期は早から
ありません、最上選位です
特別ある過りん酸石灰
ソルベール... 柑橘類の疾病に キロ五ミル六百
ノスベリット... 葡萄のべト病に キロ七ミル
寄生虫にグラリット、種子の消毒にウスブルン「ウニベルサル
ウスブルン」ミル「エスベシヤル、ウスブルン」セッコ、果樹の葉の
消毒にアルポコ、殺菌剤ゼーリオ、鶏舎の消毒にカボ
果樹苗、種禽、種卵の値改は日七月初三十日號を御覽下さい
大久保農事信託商會

Colonia Juquiazinha
DIMETZ, BARTH & SCHIRLING
Praça da Sé, 3, 4.º and. sala 7 - Caixa, 2099 - S. Paulo

DROGARIA ORION
São Paulo
R. do Carmo, 35 - R. José Bonifácio, 8
Rio Preto
Rua Bernardino de Campos No. 74
Baurú
Rua Baptista de Carvalho No. 2-29

果樹消毒の時期
あなただけの果樹園の予定は済みましたか?!!
肥料をやりましたか?
次ぎに消毒は
殺虫剤は居りませんか、フヒロキセラ虫は?!!
梨の黒星病、柑橘類の煤病並に瘡病、桃の縮葉病、葡萄のべ
ト病等腐敗病はありますせんか、明日と云ふ今日今更から行
なひなさい、今年度の收穫を極にふらさない様に、時期は早から
ありません、最上選位です
特別ある過りん酸石灰
ソルベール... 柑橘類の疾病に キロ五ミル六百
ノスベリット... 葡萄のべト病に キロ七ミル
寄生虫にグラリット、種子の消毒にウスブルン「ウニベルサル
ウスブルン」ミル「エスベシヤル、ウスブルン」セッコ、果樹の葉の
消毒にアルポコ、殺菌剤ゼーリオ、鶏舎の消毒にカボ
果樹苗、種禽、種卵の値改は日七月初三十日號を御覽下さい
大久保農事信託商會

果樹消毒の時期
あなただけの果樹園の予定は済みましたか?!!
肥料をやりましたか?
次ぎに消毒は
殺虫剤は居りませんか、フヒロキセラ虫は?!!
梨の黒星病、柑橘類の煤病並に瘡病、桃の縮葉病、葡萄のべ
ト病等腐敗病はありますせんか、明日と云ふ今日今更から行
なひなさい、今年度の收穫を極にふらさない様に、時期は早から
ありません、最上選位です
特別ある過りん酸石灰
ソルベール... 柑橘類の疾病に キロ五ミル六百
ノスベリット... 葡萄のべト病に キロ七ミル
寄生虫にグラリット、種子の消毒にウスブルン「ウニベルサル
ウスブルン」ミル「エスベシヤル、ウスブルン」セッコ、果樹の葉の
消毒にアルポコ、殺菌剤ゼーリオ、鶏舎の消毒にカボ
果樹苗、種禽、種卵の値改は日七月初三十日號を御覽下さい
大久保農事信託商會

Garage Congresso
同車運轉手の居る
ガラージ・コングレッソ
電話 二一〇〇八一
ブラサ・ジョーンデス

Armour of Brasil Corporation
Frigorífico S. Paulo - Filial: Alameda Cleveland, 34-A
Fabrica: Villa Anastacio - Caixa Postal, 2459 S. Paulo

**伯國政府カンピナス
農事試験場御證明**

品名	燐素	燐酸	加里	石灰
アルモール	六〇〇	三〇〇	〇	〇
フリゴリフイコ	四六〇	二七〇	〇	〇
骨粉	三〇〇	三〇	〇	〇
フルモール	一級品	二八〇	〇	〇
フルゴリフイコ	全	二八〇	〇	〇
粉全	全	二八〇	〇	〇
粉全	全	四六〇	〇	〇

NIPPAK SHIMBUN

Jornal Japonês de maior circulação no Brasil

Anno XVII

São Paulo — Quinta-feira, 13 de Agosto de 1931

Num. 741

NIPPAK SHIMBUN

Director-Proprietario:
SACK MIURA

Redactor da pagina brasileira: José Solé

Redacção, Administração e Officinas
Rua da Liberdade, 146
Caixa Postal, 375
Telephone, 2-3926
Endereço Telegraphico "NIPPAK"
SÃO PAULO — BRASIL

ASSIGNATURAS

Para o Brasil:

Por anno 30\$000

Por semestre 16\$000

Numero avulso \$500

Para o Exterior:

Por anno 60\$000

ANNUNCIOS

Temos á disposição dos interessados
uma tabella completa de preços para an-
uncios nestafolha. Telephone 2-3926

Barão Masayhki Matsud

Dentre os passageiros desembarcados do "Montevideu Marú" no Rio de Janeiro, figura o barão Masayhki Matsud, secretario do Ministerio das Colonias do Japão.

O Ministerio das Colonias incumbiu-o de vir ao Brasil especialmente com a missão de estudar as condições dos imigrantes japonezes localizados no interior de São Paulo. A respeito fará, depois, um relatório que apresentará ao ministro das colonias.

O barão Matsud permanecerá duas semanas no Rio, vindo depois para esta capital, onde a sua demora será um tanto longa, de modo a poder dar desempenho a missão que lhe confiaram.

Antes de regressar ao seu paiz o secretario do Ministerio das Colonias do Japão, visitará os Estados Unidos da America do Norte.

Imigrantes Japonezes

Pelo "Montevideu Marú", chegado a 6 do andante em Santos, vieram 460 imigrantes nipponicos que, no mesmo dia, seguiram para o interior do Estado onde se dedicarão aos trabalhos da lavoura.

Novo Secretario da Embaixada no Rio

Foi passageiro do "Montevideu Marú" até ao Rio de Janeiro, o sr. Shunicki Komine, novo secretario da Embaixada do Japão, naquella capital.

Em 1924, o sr. Komine, serviu no nosso paiz e, ha dois annos, vinha trabalhando no Ministerio das Relações Exteriores.

Noticias e telegrammas do Japão

(Serviço especial do NIPPAK SHIMBUN e dos Jornaes)

Tende melhorar a situação do commercio exterior do Japão

De super-importação a super-exportação

TOKIO — Conforme as noticias que para ali enviamos ultimamente, o commercio exterior do Imperio, que até ha pouco vinha lutando com constante excesso de importação, acaba de entrar na phase de super-exportação; aspecto este que, dado a sua estabilidade, promete, pelo menos, continuar.

O primeiro semestre do anno passado foi encerrado com uma super-importação de 217.792.000 yens, quando este algarismo foi reduzido a 110.000.000 yens, no igual periodo que terminou em 30 de julho ultimo. A ultima decada de julho ultimo se encerrou com uma super-exportação de 1.638.000 yens, cifra que merece muita atenção.

Contraria ao projecto da fusão dos ministerios da Agricultura e Floresta e do Commercio e Industria

TOKIO — Deve reunir-se no proximo dia 6 do corrente, nesta Capital, o congresso das sociedades rurais, convocado pela Sociedade Rural Nacional, afim de deliberar sobre as medidas a serem tomadas para combater o projecto governamental de fusão dos dois ministerios, da Agricultura e Floresta e do Commercio e Industria, tão contrario á expansão da nossa agricultura.

Foram reduzidos os vencimentos do funcnionalismo municipal de Osaka

OSAKA — A Municipalidade acaba de reduzir os vencimentos do seu funcnionalismo, na base que vae de 3 até 20 %, de accordo com a tabella.

Augmentou de 7,9% a população do Imperio do Japão

TOKIO — Segundo o resultado verificado no recenseamento do Imperio em 1 de outubro ultimo, é de 64.450.005 habitantes a população total do territorio japonês, menos as colonias. Comparado esse numero com o do igual periodo anterior, verifica-se um augmento de 4.713.183 habitantes ou sejam 7,9 %.

Ministro intimado a deixar o territorio nipponico

Communicam de Tokio que o ex-ministro de estrangeiros Eugenio Chen ora em missão politica no Japão, foi convidado a deixar dentro do prazo de dez dias o territorio nipponico.

A medida é attribuida ao rigoroso criterio de não-ingerencia nos negocios internos da China seguido, de algum tempo a esta parte pelo governo de Tokio.

O Sr. Eugenio Chen occupou a pasta do Exterior no goveno revolucionario que, em 1927, se instalou em Han-Keú e no goveno igualmente revolucionario de Cantão.

E' uma personalidade largamente conhecida na Europa, onde viveu varios annos.

AVIAÇÃO

A victoria de Amy Johnson

A famosa aviadora chegou a Tokio

Tokio, 6 — Chegou ao aerodromo desta capital a aviadora inglesa, miss Amy Johnson, que conseguiu vencer a distancia entre Londres e Tokio em pouco mais de nove dias.

—O que ha de espantoso e consideravel, é ter sido levada a efeito por uma mulher — e uma mulher sozinha!

Mais uma victoria para o rol das feministas.

O reide á volta do mundo prejudicado

Tokio, 8 — Os aviadores norte americanos Pangborn e Herndon que chegaram a esta Capital procedentes de Nova York que estão tentando um vôo em volta do mundo, foram presos por terem voado sem licença sobre o territorio nipponico.

As autoridades japonezas allegam igualmente como justificativa do acto de prisão que os aviadores pretendiam photographar dos ares as fortificações da costa e das principaes cidades do Japão.

O embaixador na China

Tokio, 6 — O encarregado de Negocios do Japão em Pekim, Mamoru Shigemitsu, foi promovido embaixador na mesma capital.

PELA CULTURA DO TRIGO

«A Sociedade Rural Brasileira, de São Paulo, tomou a louvavel iniciativa de desenvolver a propaganda em favor da cultura do trigo. A informação ha de parecer uma coisa extraordinaria, por ser aquella associação agricola composta, em sua maioria ou na quasi totalidade, de fazendeiros de café. Não ha motivos para surpresa. O paulista comprehende, ha muito, que a salvação de seu Estado não está na monocultura. O café pôde continuar a ser o ouro, o nervo da riqueza paulista, mas não é o factor quasi exclusivo da prosperidade da operosa terra. De resto, seria um crime cuidar-se apenas de plantar café, numa terra de espantosa fertilidade para varios ramos de cultura.

A Sociedade Rural empenha-se por uma grande e proveitosa realização.»

Para desenvolvimento do commercio

Chegaram, á 4 do corrente, á Liverpool cinco membros da Sociedade Japão para o Desenvolvimento do commercio, que estão fazendo á volta do mundo.

O sr. Kinoshita, que chefiava a caravana, declarou que pretende visitar os principaes centros productores e aproveitar a occasião para estudar e adquirir, por conta de seu paiz, os mais modernos machinismos industriaes.

Falleceu a conhecida sportswoman senhorita Kinuye Hitomi

Osaka, 2 — Falleceu em consequencia de uma tuberculose pulmonar, a conhecida sportswoman japoneza senhorita Kinuye Hitomi detentora do campeonato mundial de corridas de cem metros.

O representante da Nippon Brazilian Trading Co., visitou o ministro do Trabalho

O representante da «Nippon Brazilian Trading Co., sr. Kanzo Hata, teve occasião de entreter uma larga palestra com o sr. Lindolpho Collor, ministro do Trabalho, em uma visita que fez na sede do Departamento Nacional do Commercio.

O sr. Kanzo Hata teve occasião de mostrar, ao sr. Collor, os methodos que emprega no Japão para propaganda do uosso café, que a companhia de que faz parte é grnde introductora no extremo Oriente.

A Brazilian Trading conseguiu, de accordo com um contracto do Instituto de Café de S. Paulo, tornar o Japão um optimo mercado comprador do café brasileiro. Em pouco espaço de tempo, aquella companhia elevou a entrada da nossa rubiacea de 800 para 5.000 saccos annuaes. O café é introduzido nas principaes cidades nipponicas com muita facilidade, em vista do cuidado que teve a Brazilian Trading em instalar

excellentes casas de café já preparado.

A Brazilian Trading mantém actualmente quatro grandes casas, para servir o café brasileiro, situadas nas cidades de Tokio, Kieto, Osaka e Kobe, encontrando-se em todas ellas cartazes de propaganda do Brasil.

O sr. Kanzo Hata é de opinião que ha muita facilidade para a entrada, no mercado japonês, do nosso algodão, das nossas frutas, especialmente bananas e laranjas, e da industria de couro.

A Pecuaría Paulista

«É tão intenso o desenvolvimento da pecuaría paulista que não é exagero afirmar que São Paulo terá nessa industria, dentro em breve, uma das suas fontes mais fecundas e mais poderosas de riqueza.

As noticias procedentes de Collina, interior do Estado, onde se estão procedendo as magnificas exposições de gado, dá-nos uma idéa desse notavel progresso. Nos cafezaes velhos paulistas, agora transformados em pastagens, no terreno de mil cafeeiros, engordam-se facilmente duas a trez mil cabeças por anno.

Calcula-se que o abandono vae exceder de vinte por cento, talvez, cem milhões de cafeeiros, e nessas condições terá S. Paulo possibilidade de pastagens para engordar quatrocentas mil excelentes cabeças de gado.

É interessante notar que o gado alli apascentado é o melhor que se encontra para o preparo de carne congelada. Por isso o exportação dos cinco frigorificos paulistas cresce em proporção acima da maior e mais optimista expectativa.

A Argentina com o alarmante decrescimento de gado apropriado á carne congelada, decrescimento esse que em 1929 foi de quasi trinta por cento, dentro em pouco não poderá competir com o Brasil nos mercados consumidores.

Para se avaliar da gravidade da situação argentina, basta dizer que sómente em um anno a matança foi de quinhentas mil cabeças.

Como se ve, S. Paulo prepara, para o futuro, uma grande industria.»

Folhinhas para 1932

Finissimos chromos japonezes
Variado e escolhido sortimento para todos os ramos commerciaes, encontra-se na
TYP. "NIPPAK"

Rua da Liberdade, 146 - Caixa 375 - SÃO PAULO

Através do Japão

Impressões da escriptora senhorita Nenê Diaz y Diaz

E de Tokio a Kamakura, scenario de prolongadas lutas politicas e de guerras renhidas, a antiga cidade, cansada de tanto batalhar, vive agora immersa numa calma beatifica, satisfeita com a presença de innumeris turistas e crentes, que a visitam continuamente.

A estatua em bronze do grande Buddha, com os seus 27 metros de altura, domina, desde 1252, immenso parque de Dalbutosou e á gruta de Bentem continuam a affluir os crentes para pedir á deusa da sorte e da belleza, graças e favores.

E a seguir Nikko, placida pelo seu lago Chezenji, romantica pela avenida dos cedros, sonora pelas cachoeiras Kenyon e Kirifuri, majestosa e solenne pellos seus mais de sessenta templos sagrados, cada qual mais luxuoso e fulgurante.

Levantados, ha pouco mais de um seculo, pelo imperio, quinze mil operarios emprestaram á sua construcção, por doze annos seguidos, o seu trabalho, quotidiano.

Todos elle são pintados, interiormente, de vermelho ou dourados com decorações a côres vivas, porém, harmoniosas, tendo como motivos aves, dragões e outros animaes.

Detalhe maravilhoso entre tantas maravilhas as partes em madeira, ornadas com esculturas, todas laqueadas e com incrustações de ouro.

Não foram, porém, esses lindos bichos esculpidos por um simples capricho ou preferencia de arte, mas perfeitos.

Alli os collocou a crença religiosa do povo para afugentar os espiritos maus, que se aproximarem do templo para violar os humbraes sagrados.

Templo notavel entre os mais originaes é aquelle em que se acha recolhido o cavallo branco, cujas patas sagradas somente uma vez por anno, na occasião de tradicional e solenne procissão, podem pisar o solo impuro das grandes avenidas vizinhas. Entre os motivos decorativos que enfeitam, esculpidos na madeira, sobresaem, impondo-se á attenção dos visitantes, as figuras caracteristicas de tres macacos representados em tres posições diferentes.

Com a mão, um encobre os olhos, o segundo tapa as orelhas e o terceiro a bocca.

Exprimem no seu symbolismo os tres preceitos que todo o japonês deve respeitar e cultivar: "Não ver, não ouvir e não falar".

E a seguir Miyanoshta, a região dos sonhos, dos perfumes e das côres, templo immenso, que a natureza enfeita uma vez por anno com toda a suas riquezas — custodia preciosa dos mais altos ideaes da raza.

Alli ergue-se Fuji, a montanha sagrada. Orgulho da nação inteira, méta de todas os romarias, do seu cume viumbra-se, na primavera, a visão empolgante e unica de uma planicie pela qual se espraia um mar de petalas rosadas dos cerejeas em flor.

Vem a seguir Nagoya, cidade commercial e Kyoto, relicario de antiguidades com o seu pavilhão de ouro, com as suas fabricas de seda de Nihisjin, com o monasterio Chionin, os templos Sanjusangendo e Higasi-Honganji, com o seu antigo palacios imperial, cujas portas monumentaes só se abrem nas cerimoniaes sumptuosas das coroações imperiaes. E, de pulo em pulo, Naro com seu templo millenario de Horyuji, com o seu parque dos veados sagrados, com o seu celebre pagode de cinco andares, testemunha de nove seculos de historia, todo laqueado de ouro, de azul e de vermelho, á noite visão deslumbrante de luzes polychromaticas. E da ilha Miyajimo, que os japonezes chamam de divina, a Fusan, Keijó, Osaka, Kobe, Mukden e Pekino.

(Continua)

Ha tempos noticiamos a passagem, pelo porto de Santos, de uma turma de touristes argentinos que se destinavam á Yokohama, encontrando-se entre elles a illustre escriptora uruguaia senhorita Nenê Diaz y Diaz, que tencionava escrever um livro sobre o que visse nessa viagem ao Oriente. Agora de regresso para o seu paiz, tornou a passar a festejada cultora das bellas artes.

Entrevistada á bordo do "Rio de Janeiro Marú" por um dos representantes do "O Estado de S. Paulo", a senhorita Diaz, externou francamente a admiração que lhe causou o Extremo Oriente, por onde passeiou e recolheu notas para o seu livro: "Impressões de viagem ao redor do mundo". Eis como Nenê Diaz descreveu ao representante d"O Estado" as suas impressões:

«Santos com as suas lindas praias do Gonzaga e José Menino: São Paulo com os seus cafesaes, com os seus arranha-céus e com os seus parques; Rio de Janeiro, opulenta e magnifica na sua belleza tropical, com o deslumbramento da sua bahia, das suas praias de Copacabana e do Leblon e com a natureza selvagem da Tijuca; Petropolis, aristocratica e serena, toda engalanada de hortensias, de rosas e de cravos, impressionaram vivamente a sua sensibilidade artistica.

E depois virão Nova Orleans, Hollywood, a cidade dos sonhos filmados e das estrellas, Los Angeles, Yokoama e Tokio, onde a civilização oriental apparecera ao seu espirito latino pela primeira vez, em todo o seu caracteristico esplendor. Cidade de intenso movimento a capital do imperio, apesar dos seus museus de arte antiga, dos seus templos e dos seus relicarios, offerece bem nitidos os traços da influencia europea, que parece ter attingido, tambem, pelo menos em algumas particularidades exteriores, o palacio immenso, rodeado pelas aguas tranquillas de um lago, onde o Japão guarda o seu idolo vivente: sua majestade imperial Hirochito, 124.o imperador.